



# 海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成23年3月 No.20

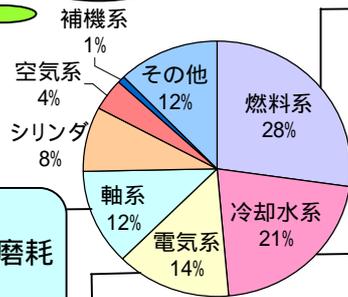
日頃の機関の整備・点検を「たぶん大丈夫？」とおろそかにしていませんか。もうすぐ漁や行楽のシーズンを迎えます。冬期間、使用していなかった漁船・プレジャーボートを稼働させる際には念入りに機関の点検をしましょう！

北海道周辺で発生する海難は毎年20～25隻（**年間の約2割**）が機関故障によるもので、衝突の次に多い海難です。機関故障は乗揚・衝突等の重大な海難の遠因にもなっています。

機関故障は、発航前の整備点検で**防げる海難**です。

【過去5年機関故障箇所】

【過去5年 機関故障発生原因(単位:隻)】

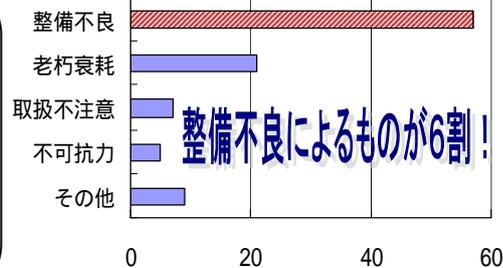


**海難原因**

- 燃料フィルターの目詰まり
- 燃料油系統の空気の混入
- 燃料油に水分混入

**兆候は・・・**

- 燃料消費率の低下
- 排気色の悪化
- 燃料油の白濁



**整備不良によるものが6割！**

**海難原因**

クラッチ板の磨耗

**兆候は・・・**

- クラッチが滑る

**海難原因**

- 点火プラグの老朽・不良
- 配線の皮膜劣化
- 端子の接続不良、焼損

**兆候は・・・**

- エンジンの始動不良

**海難原因**

- 冷却水(クーラント)不足
- 海水こし器の目詰まり
- 冷却水ポンプインペラの折損

**兆候は・・・**

- 水温計の温度上昇
- 排水口からの水の勢いが弱い

**機関故障を防ぐには・・・**

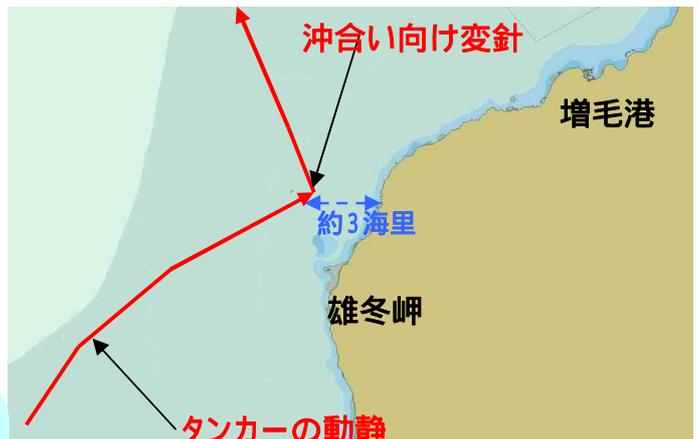
- 出港前に点検を兼ねた試運転を行いましょう。
- 航行中は、エンジン音、振動、排気の色、冷却水排水状況、漏油、臭気に注意を払いましょう。
- 航海中に「いつもと様子が違うな」と感じたらすぐに点検しましょう。
- 入港後にも主要箇所の点検、ビルジの様子を確認しましょう。

**機関故障といえども救助が遅れると大事に至るので、118番等の緊急連絡先に連絡しましょう。**

## (AIS)雄冬岬沖で発生した内航タンカー乗揚回避事例について

2月7日午後3時3分、雄冬岬約3海里を陸岸に向けて航行する内航タンカー(総トン数:998ト)、目的地:稚内を確認したため、直ちにAISメッセージとVHFで注意喚起したところ、同船は沖合い向け変針、陸岸への乗揚を回避しました。

翌日、同船が稚内入港後、稚内保安部職員による不必要な陸岸への接近防止等安全運航に関する指導を行いました。



### <参考> 乗揚注意に関するAISメッセージの例

・乗揚げの危険があります。注意せよ！

<HOKKAIDO> YOU ARE RUNNING AGROUND. WATCH OUT!

・貴船前方の浅瀬に注意せよ！

<HOKKAIDO> BE AWARE OF SHALLOWS AHEAD OF YOU!

乗揚海難は、油の流出による環境被害をはじめ、特に荒天期では人命への影響も懸念されます。航行中は居眠り防止を含めた常時適切な見張りの励行、定期的な船位確認、VHFの常時聴取など、安全運航に心がけましょう。

### AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134 - 27 - 0118

(内線: 2615、2623)

次号へ続く～